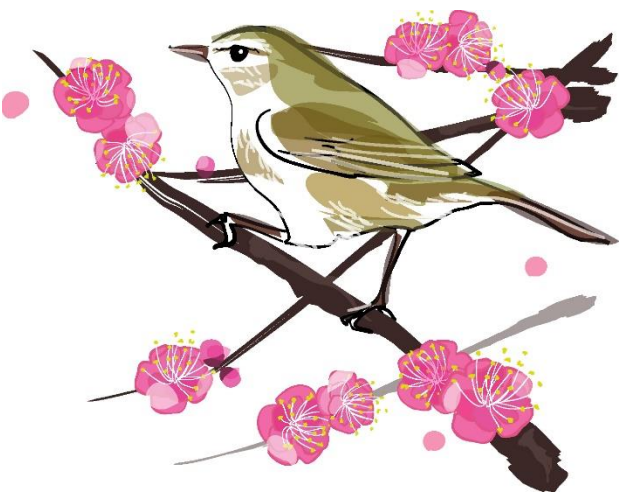


桜の花咲く頃となりました。
心とお話を春風とともにお届けいたします。



「お婆ちゃんとケーキ屋さん」

こんな話を耳にしました。たまたまですが、これもモスバー
ガーの熊本県・天草のお店で、実際にあったエピソードです。

+++++
それは、ある年のクリスマスの出来事だったそうです。

お店に一人のお婆ちゃんが訪れました。レジのところへ、

「ケーキをください」

と言いました。

(え!? ケーキだって?)

店員はおかしいなと思いました。お婆ちゃんに聞くと、表
に大きなクリスマスツリーが飾られていたので、てっきりこ
はケーキ屋さんだと思ってしまったというのです。

勘違いに赤面して戸惑っているお婆ちゃんの姿を見て、この
店のオーナーは、

「お婆ちゃん、車に乗ってください」

と言いました。そして、車を走らせて一番近くのケーキ屋
さんまで連れて行きました。お婆ちゃんが喜んでくれたこと
は言うまでもありません。何度もお礼を言われました。

オーナーは、「クリスマスに人の役に立てて良かったな」と気
分を良くして、その他の用事もついでに済ませてお店に戻り
ました。

ところがです。さつきケーキ屋さんまで送って行ったはずの
お婆ちゃんが、お店の中にいるではありませんか。これはど
うしたことでしょう。

レジで接客している店員が、お婆ちゃんにチキンを手渡す
のを見て合点がいきました。なんと、そのお婆ちゃんは、わ
ざわざチキンを買うために戻って来てくれたのです。

話を聞いてさらに感激しました。ケーキを買ったあと、わ
ざわざケーキ屋さんでタクシーを呼んでもらい、「モスバー
ガーさんへ」と言ってきこす踵を返してくれたのです。

思わぬクリスマスプレゼントをもらったのは、当のオーナー
のほうでした。

熊本のお婆ちゃんは、本当に嬉しかったのでしょう。モスバ
ーガーのお店にとってはお客様ではありませんでした。それ
を承知で、ケーキ屋さんまで送ってくれた。売り手と買い手
の関係を越えた「思いやり」が、お婆ちゃんの心に染み込
まされた。

「毎日が楽しくなる17の物語」より抜粋

株式会社三悦

代表取締役 樋田浩三

令和七年四月